

**実践キャリア実務士は、企業が渴望する
コミュニケーション力、思考力、主体性、責任感
を備えた人材です。**

実践キャリア実務士資格取得者は

「しっかりとした理解力と表現力を備え、建設的に対話や議論をし、課題を明確にし、周りの人とともに創意工夫をして総合的な課題解決ができる」。そんな人材を大学が育て、その質を保証するのが、実践キャリア実務士資格です。実践キャリア実務士資格取得者は、キャリアデザインやキャリアプランニング、それらにともなう能力開発についての知識・技能を習得し、刻々と変化する社会環境において、自らキャリアを開発していける人材です。

建設的に対話や
議論をして、課題を明確にし、
創意工夫をして
総合的な課題解決に
挑戦します。

組織の一員としての
自覚を持ち、自らを律し、思い
やりと責任感を持って、チーム
での活動に貢献します。

「読む、聞く、話す、書く」
の能力を駆使し、積極的に調べ、
考え、問題を多面的に把握し、
主体的に行動できます。

実社会と自らの
キャリアを関連づけ、
実務を通じて自分を振り返り、
自らのキャリアを育てていくこ
とができます。

実践キャリア実務士資格「学修の質保証の方法」

大学・短期大学は、協会認定のルーブリックによる
評価基準を参考に到達目標達成度評価表を作成

評価表をもとに、学生が資格教育課程の総合的ま
とめの学修で総合的に自己評価する。

学生の自己評価を参考に教員が到達目標の達成
度を確認・評価

大学・短期大学が、到達目標達成度評価表の評価
結果を協会に提出

協会は、教育課程の単位認定結果と到達目標達成度
評価結果によって資格の認定

修了生の学修成果を担保するとともに、資格の社会的通用性を高めることを目指します。

実践キャリア実務士資格

実践キャリア実務士資格は、しっかりとした理解力と表現力を備え、建設的に対話や議論をして、周りの人とともに課題を明確にし、創意工夫をしてチームで総合的な課題を解決する能力を保証する資格です。

「実践キャリア実務士」資格授与要件

実践キャリア実務士資格は、下の2領域に関して、それぞれの到達目標があり、必修科目と選択科目を学ぶことで、既定の単位を修得して目標に到達します。

領域	資格到達目標	必修科目の 単位数	選択科目の 単位数
領域 1:働くための基礎能力 とキャリア教養の領域	働くために必要な基礎能力を身につけ、社会と自分の関係を理解している。	2単位 以上	12単位 以上
領域 2:総合的学修体験と能力 開発の領域	総合的学修の体験を通じて、キャリアと能力開発の方向性を明確にすることができる。	2単位 以上	

目標に到達するための教育課程編成の例

実践キャリア実務士資格に関して本協会が設定した到達目標に至るために各大学は、独自の工夫を凝らした学修項目・学修プログラムを設定して、学生の教育を行います。

実践キャリア実務士の領域 2「就業の中でキャリアを考える力」で設定された学修項目と学修プログラムの一例

学修項目	学修プログラム
●社会生活・職業生活の課題対応 ●課題の明確化 ●収集データのまとめと考察 ●調査結果報告書の作成と発表 ●事前調査 ●インタビュー調査 ●解決の方策の立案	チームで事前調査・実地調査を行い、調査結果を考察し、課題解決の方策を提案する体験学修プログラム